スマイルだより

2023年7月号【部内用】

jcp-osakachuo 発行：中央区日本共産党後援会
大阪市中央区玉造 1−21−3
TEL 06-6762-6671 fax 06-6763-2716
https://www.jcp-osakachuo.org/
mail: jcptama1@agate.plala.or.jp

新しい政治をもとめるすべての人々と手を携えよう

次期衆議院選挙で、大阪一区小選挙区でがんばります

竹内よしのりです

次期衆議院選挙で、大阪一区小選挙区でお世話になります竹内よしのりです。前回２０２１年に続く挑戦です。「生きる希望は政治がつくる」をスローガンに、国会へ駆け上がるため力を尽くす決意です。

「物価の値上がりでご飯を我慢してる」「学費が高くてバイト掛け持ち。フードバンクが助かる」―私はこの間、若い世代も高齢者も、物価高のもと誰もが苦しんでいる声を、直接お聞きしてきました。

いま、国会がやらねばならないことは、消費税減税、最低賃金引き上げのための中小企業支援など、物価高への経済政策です。

ところが岸田政権は市民生活を助けることとは正反対に、軍事拡大、原発推進、入管法改悪、ＬＧＢＴ差別法、マイナンバーカード強制のための保険証廃止など、市民の願いとかけ離れた悪法を数の力で強行しました。

また、維新が自公とともに悪政推進の先頭にたち、「核共有」など軍事拡大をより推進し、差別・人権侵害を助長する姿をあらわにしました。大阪では民意を削る「議員定数削減」、そしてカジノ・万博に巨額の税金を使うことなど、市民の願いとかけ離れているのが維新政治の実態です。

こうした悪政推進に「黙っていられない」という声は高まり、岸田政権の支持率急落にあらわれています。私は、新しい政治をもとめるすべての人々と手を携え、国会内外でのたたかいの先頭にたつ決意です。

いつも支えて下さる後援会・支持者の皆様と心ひとつに、来たる解散・総選挙にむけ、元気いっぱい頑張ります！

さあー！総選挙　希望のもてる選挙に！
次期総選挙の近畿ブロック比例候補決定！

平和・暮らし・教育、食料、エネルギー、働き方、マイナンバーカードによる健康保険証の廃止、ジェンダー平等、LGBT、入管法などなど国民の声を国会に届ける議員を増やそう！

中央区日本共産党後援会　スマイルだより　2023年7月号

お金の使う順序　違うんちゃう？　大阪メトロ

利用者の要望最優先で！

大阪メトロは先ごろ万博を意識した１０００億円の投資計画を発表しました。それによると中央線に新型車両を投入し（すでに公開）、25年4月13日から始まる万博までに中央線に可動式ホーム柵の設置をすることになっています（その他の路線は26年3月までの予定としています）。

そのほかにも自動運転の開発や顔認証の改札機の設置などが盛り込まれていて万博来場者やカジノを当て込んだ配慮はありますが、大阪メトロを毎日利用する地元民の要望の多い『森ノ宮駅』や『天満橋駅』の地上までのエレベータ設置などにはふれられていません。

日々の安全対策としてのホーム柵の設置は25年、26年といわず一刻も早く実現してもらいたいです。万博客より毎日の利用者の要望を優先して取り組んでもらいたいものです。

（堂寺町　鈴木）

《第20回中央区みんなの自治体学校》開きます。

2014 年からスタートしました「中央区自治体学校」は 20 回目を迎えました。

国や自治体にかかわる解決すべきテーマは、あまりにも多くの問題を残しています。

今回の企画を検討する際に「住民自治」「統治機構」「住民と議会」「町会をはじめとした地域での役割」などの要望もあり考えましたが、やはり大阪市政の最大の問題は、「夢洲カジノ」であることに至りました。

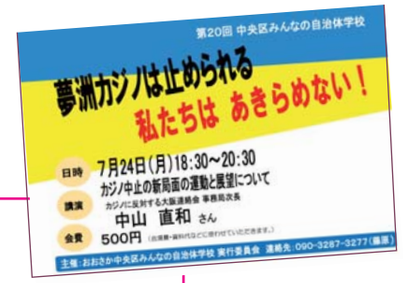
カジノ事業者との実施協定、カジノ免許の付与などの重要な局面に入っています。

私たちは、「認定取り消し」を求める国への署名、「誘致計画の中止」を求める府・市への署名を大きく広げ、多くの府民、市民に計画の問題を明らかにしていく事が求めれれています。

また、二つの住民訴訟も取り組まれています。夢洲のカジノ用地の賃貸契約が差し止められた場合、国交省は、「認定はできない」と回答しています。

自治体学校では、国交省の審査委員会が認めた「大阪カジノ計画」の問題点を明らかにし、カジノ中止の新局面のたたかいと展望について、学び合いたいと考えます。

みなさんお誘いあわせのうえ、ご参加いただきますよう、よろしくお願いします。



■日時　2003 年 7 月 24 日(月)18：30 ～ 20：30
■会場　大阪クリスチャンセンター
■講演　中山直和さん（カジノに反対する大阪連絡会・事務局次長）
■会費　500 円

私の作品 №95「腹話術の衣装」

腹話術を始めて10年余り。私の服をリサイクルして「アイちゃん」衣装作っています。お声がかかれば参上いたします。

東平在住　森　和子さん

《私のお薦め本》

「はだしのゲン」

1972年、中沢啓さんが原爆体験を自伝的に書き少年ジャンプに連載された漫画です。

表現が余りにもリアルで読んだ子ども達の中にトラウマになると言う理由で学校の図書館から消えていると報道されています。そうした中で今脚光を浴びています。　チクリン

■8月6日（日）からほりピースでアニメ「はだしのゲン」の上映を予定しています。
■場所：社会福祉会館４０１号室
■10：00～12：00（9時30分開場）

お役立ち情報（№38）

社会保険労務士　森　哲郎さん

「給付金・・・申請が必要な方、おられませんか？

電気・ガス料金の値上げや食費等の物価高が続いています。
今回は、大きな影響を受ける世帯に対する給付金の紹介です。

■「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」は、住民税非課税世帯などに１世帯あたり３万円支給されます。

【支給対象と申請の有無】
① 世帯全員の 2023 年度の住民税均等割が非課税の世帯には、７月下旬から「支給のお知らせ」または「確認書」が送られます。「支給のお知らせ」が届いた場合、手続きは不要です。「確認書」が送られた場合は、必要事項を記入の上、返信が必要です。
② 「支給のお知らせ」や「確認書」が送付されていなくても、収入が減少し「住民税非課税相当」となった場合などに支給対象となることがあります。その場合は申請が必要です。

（問合わせ先⇒コールセンー：
0120-002-561
06-6690-8515

	書類	手続き
2023年度の「住民税非課税」世帯	「支給のお知らせ」	手続き不要
	「確認書」	「確認書」に返信
「住民税非課税相当」の収入となった世帯など	「申請書」	収入額が確認できる書類などを提出

制度の詳細、申請方法などは日本共産党の生活相談所に相談ください。

中央区日本共産党後援会　スマイルだより　2023年7月号

つぶやき

「目」の次は「耳」
補聴器に補助金を

私は団塊の世代。「老い」との格闘（？）の日々。

視力には自信があったのに、今はお手元用の眼鏡を片時も離せなくなっている。白内障の手術を受けた同級生も多い。以前、食事会に来られていた耳の遠いTさんが、「白内障の手術を受けてホンマによう見えるようになって嬉しいんやけど、耳も目みたいに簡単によう聞こえるようになれへんかな」と嘆いておられた。

最近、補聴器は日進月歩で進化しているそうだが、値段が、『ン十万円もする』と聞いて目玉が飛び出た！白内障の手術のように補聴器にも保険が適用されたら助かるのになあ、と少しづつ聞こえが悪くなってきているわが耳をさすりながらつぶやいた。耳が遠くなってくるとみんなと会話するのがおっくうになり、外出が減り、認知症になる確率が高く、早めの対策が大事だそうだ。調べると補聴器に補助金を出している自治体がかなり増えている。

大阪市では「補聴器に補助金を」という運動はまだ広がってないが、「目」の次は「耳」。ぜひ実現させたいものだ。

森ノ宮　楠田るみ

《あなたにとって「町会」とは？》

コミュニティは必要、しかし「わずらわしい

住民自治を基本に地域の声を行政に反映させる「町会」であってほしい。

ほとんどの方は、「地域コミュニティは大切だ」と仰います。でも「面倒は避けたい」とも・・・。

そんな建前と本音がぶつかり合っているのが、町会（町内会・自治会）ではないでしょうか。10年ほど前ですが、中央区のマンション住民への調査で町会に加入していると回答した人は３５・９％でした。

かつて占領軍は、「町会」は国民を戦争に駆り立てる道具になったことから、役員選挙など民主的改革を施せ、出来なければ「廃止」しろと迫ったようです。

しかし戦後直後、M8.0 の南海地震の大被害が発生し、その対応に日本赤十字社の役割が大きく、日赤奉仕団が各地域に編成されたのが「町会」です。その後、大阪市は、1975年に地域組織の再編＝地域振興会体制を成立し、赤十字奉仕団を維持されたまま組み入れてきた経過があります。

その後、タワマンをはじめとした分譲マンションが建設され続け、新しい住民の町会加入率の低下に拍車がかかります。元来、地域の担い手や参加者は、地域の商工業を営む旧地付き層の住民がほとんどで、大量に流入してきた新住民への対応がスムーズにいってないのが現状です。一方で、65 歳以上の高齢者単身世帯率が高く、介護、見守りをはじめ日常生活の支援も必要となっています。

行政からの暮らしに役立つ情報も必要ですが、行政の下請け「町会」ではなく、住民自治を基本に地域の声を行政に反映させる「町会」であってほしい。

法律相談
７月26日（水）
じかん　18時30分
場所 日本共産党大阪中央地区委員会
※　相談ご希望の方は、事前にご予約をお願いします
☎(06) 6762-1191
担当　丸岡ひろし